

昭和58年度

郷土学習教材映画

企画 富山県教育委員会
制作・撮影 富山県総合教育センター

16ミリ・カラー・2巻 21分

ぼん しょう 梵 鐘



— 郷土に生きる伝統工芸 —

制作の意図

高岡鋳物の歴史をふまえて、郷土に息づく伝統工芸の一つである高岡梵鐘を取りあげ、その鋳型造り、地金の溶解、型ばらし、仕上げなどの製作工程で、伝統の技術を守りながら、働く職人の姿を紹介する。

この作品を通して、郷土に生きる伝統工芸に対する関心と理解が深められ、郷土愛が一層高まることを期待している。

対象

(学校教育) 中学校、高等学校
(社会教育) 青少年、一般

用途

技術家庭科、工業科、社会科、一般教養

利用のしかた

1. 金屋町を中心とした高岡鋳物発達の歴史を理解し、地域の特質との関連を考える。
2. 鋳造の工程を把握するとともに、伝統的な技術を生かすために、どんなくふうをしているか考える。
3. 梵鐘製作に取り組む職人や、国の指定などから、伝統産業の発展のためには、どのような努力がなされているか考える。

あ ら す じ

高岡大仏は、銅器の町、高岡の象徴である。

高岡銅器のおこりは、今から 370 余年前（慶長 16 年）に、加賀藩二代藩主、前田利長が、城下の産業振興策として、砺波郡西部金屋から 7 名の鋳物師を招き、千保川沿いの金屋町に土地（御印地）を与えて開業させたことによる。

高岡銅器は、昭和 50 年に国の伝統的工芸品に指定され、今日では特定産地として、市場の 90% を占め全国一の座を不動のものとしている。ここ高岡で、梵鐘作りが伝統的な技法で受けつがれていて、高岡梵鐘として、日本各地に、その名をとどめている。

梵鐘の鋳型造りには、砂と粘土を練り合わせた真土を大量に使う。

鋳型は、外型と内型に分けてつくられ、共に実物大の挽板で型取りし、直接鋳型が造られるので双型法という。この方法は、今日の鋳造技術の基本となっている。

梵鐘を吊りさげる竜頭、イボといわれる乳、梵鐘に記される文字や模様等は、昔ながらの技法でつくり、焼きあげられる。

梵鐘の銘文には、寺の由来や鋳物師名等が刻まれていて、つくられた時代の文化や世相等を知ることができる。

元禄 12 年に造られた高岡市・専福寺の鐘の銘について、住職が解説する。

文字や模様を、入念にへらで押し込みながら描く日本の伝統工芸技術に指定のへら押しの技法。

熟練した技と経験による乳や文字の鋳型の生け込み。それぞれに伝えられたものだけがもつ独特の味わいが表現される。

鋳型の組立作業とあわせて、銅・錫の地金を計り、炉内のルツボに入れ、準備がすべて終わったことを確かめて、バーナーに点火される。

大きな梵鐘では、数個の炉が同時に使用され、吹き出す炎は、赤く、時には黄色く見える。

梵鐘のいのちといわれる音色の良さや強さは、形や厚さの他、錫の量に依るといわれ、これらが独特の余韻やうなりに深くかかわる。

この青銅合金は、約 2 時間で 1300 度の湯になる。

昔は、コシキ炉で、板人と呼ばれる職人達が、「ヤガエフ」を唄いながら、たたらを一晚中踏み続けて溶かした。

溶けた湯は、上に浮いたカスを取り除き、取瓶に移し、適温で鋳込まれる。鋳込み前の儀式。

鋳込みは、鋳造のかなめで、暖められた鋳型に、静かに、しかも一気に注ぐ。修業に一生をかけた職人の真価が発揮されるのは、この時である。

梵鐘の注文は、今も多く、大戦の梵鐘供出で失われたものの復元、新たに奉納されるものが相次いで製作され、戦後 38 年間に、3500 余口が、この製作所で誕生した。

鋳込み後、そのままの状態ゆっくり冷やし、丹精を込めた鋳型がくだかれて、梵鐘があらわれる。

砂を落とした鐘は、タガネ、ヤスリ等で、彫刻や銘文の一点一画に至るまで、精魂を込めて研磨され、もち味が、ひき出されていく……。

完成した梵鐘を前に、当主は「……今一番の悩みは、後継者不足です」と語る。

郷土に生きる私たちは、先人から受けついだ伝統の技を、次の世代に継承していく責任がある。

高岡梵鐘は、これからも気品のある音色を、全国津々浦々に響かせていくことでしょう。

タイトル

上杉 重章

撮影協力

(株)老子製作所

協力委員

・元井 忠治 弥栄節後援会会長・鋳造
・新保 昭一 金屋町町並保存会長・郷土史
・高信 政雄 富山県教育委員会指導課
・藤縄 雄 同 社会教育課
・若土 治雄 同 文化課
・得永 紀一 富山県総合教育センター
・植原 利光 同
・井田 昭雄 同
・広世 益夫 同
・関口 寛 同
・平野千代子 同

フィルム利用申込先

- ・富山県視聴覚ライブラリー
(富山市五福 TEL32-6420)
- ・魚津市視聴覚ライブラリー
(魚津市住吉 TEL22-2495)
- ・高岡市視聴覚教育センター
(高岡市本丸町 TEL22-2134)
- ・東砺波郡・砺波市視聴覚ライブラリー
(砺波市表町 TEL32-4078)